



トステム株式会社

あやどり 可動式日除け 彩鳥S型 取付け説明書

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

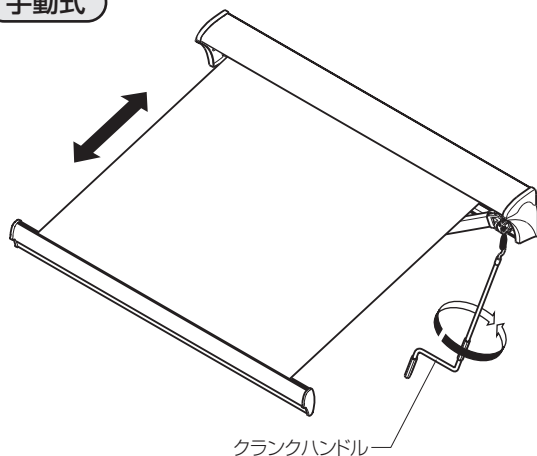
- 商品が落下・破損するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・ブラケット・ベースプレート(オプション)は、躯体の柱などの重量・使用に耐えられる構造材に直接取付けてください。
 - ・躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けしないでください。
 - ・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
 - ・指定のボルト・ねじで固定してください。
 - ・コーチスクリューφ9を使用する場合は、必ず構造材に45mm以上ねじ込んでください。付属のコーチスクリューだと長さが足りない場合は、別途用意してください。
 - ・アジャストアンカーφ10(オプション)を使用する場合は、必ずRC本体に45mm以上埋込んでください。
- 強いスプリングでアームが伸びてケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・アームをブラケット・前枠に取付け終わるまで、アームバンドを外さないでください。
 - ・アームバンドを外す際は、手で押さえてください。
- 漏水のおそれがありますので、ねじ穴にはコーキング材を充てんしてください。

■取付け上のお願い

- 強風(10m/s以上)のとき、又は突風が予想される場合は、必ずキャンバスを巻取ってください。
- キャンバス生地・フリル生地は汚れ・キズが付きやすいので、特に取扱いに気を付けてください。
- 特注寸法でご注文の場合、ケースセットなどは規格寸法品のため現場加工してください。
- 電動スイッチ式** **電動リモコン式** の場合、モーター(巻取りパイプ)は日影に入れて熱くならないようにしてください。

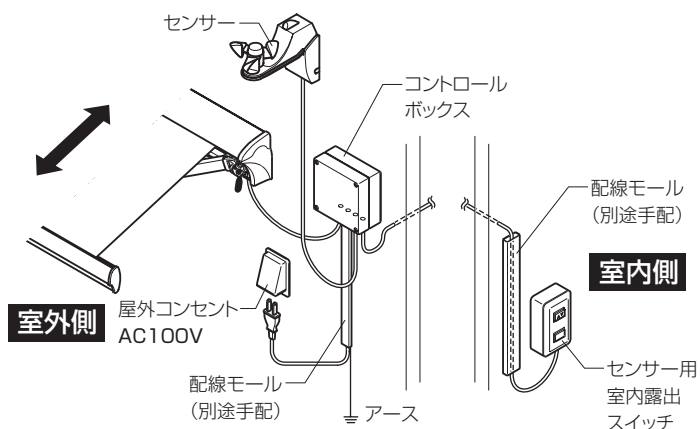
■タイプ一覧(手動式/電動スイッチ式/電動リモコン式)

手動式



電動スイッチ式

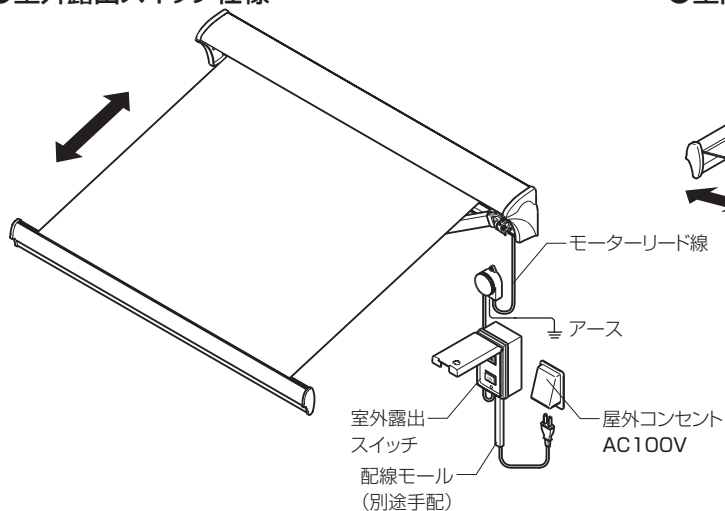
●風力センサースイッチ仕様/風力陽光センサースイッチ仕様



※室外露出スイッチ仕様は特注対応

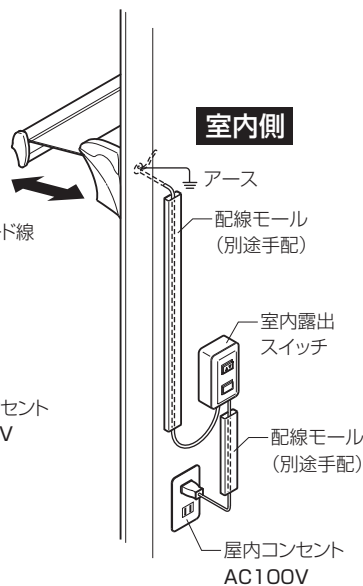
電動スイッチ式

●室外露出スイッチ仕様



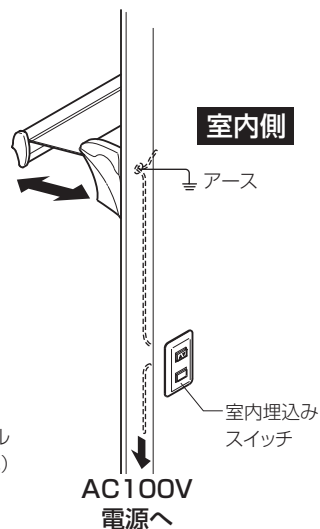
電動スイッチ式

●室内露出スイッチ仕様



電動スイッチ式

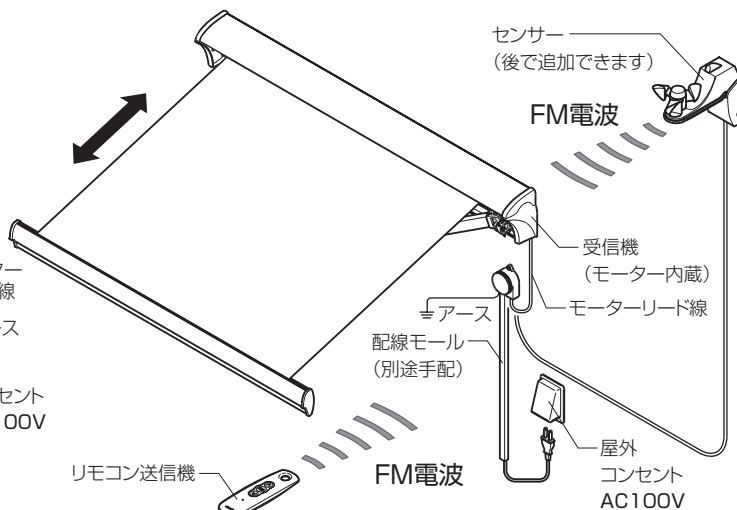
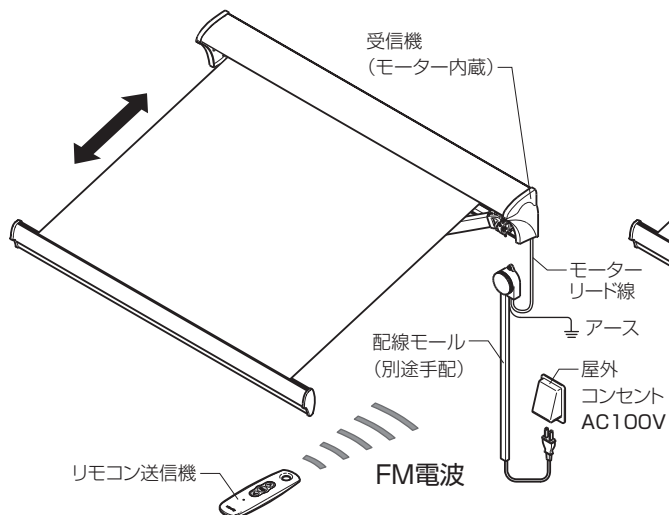
●室内埋込みスイッチ仕様



電動リモコン式

電動リモコン式

●風力センサー送信機仕様/風力陽光センサー送信機仕様

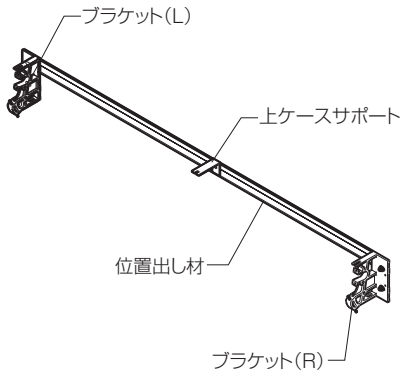


※本図は外観を示し、**手動式**を例に示します。



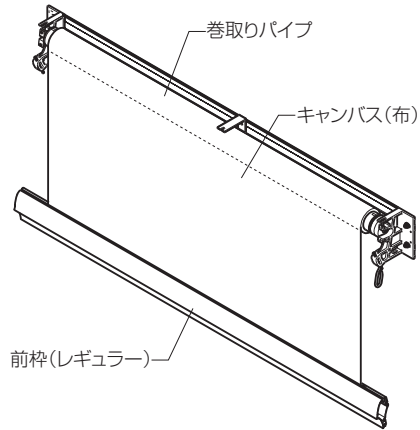
■取付け順序

1 位置出し材・ブラケット 上ケースサポートの取付け

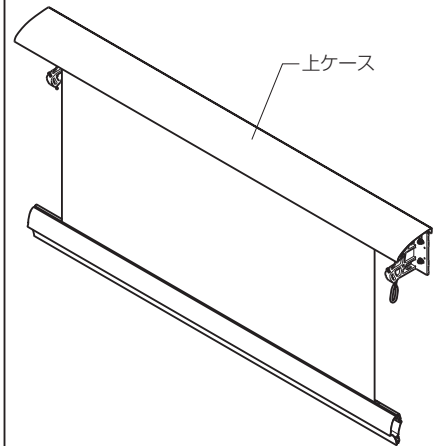


※ブラケット取付け面の面出しをしてください。

2 巻取りパイプの取付け

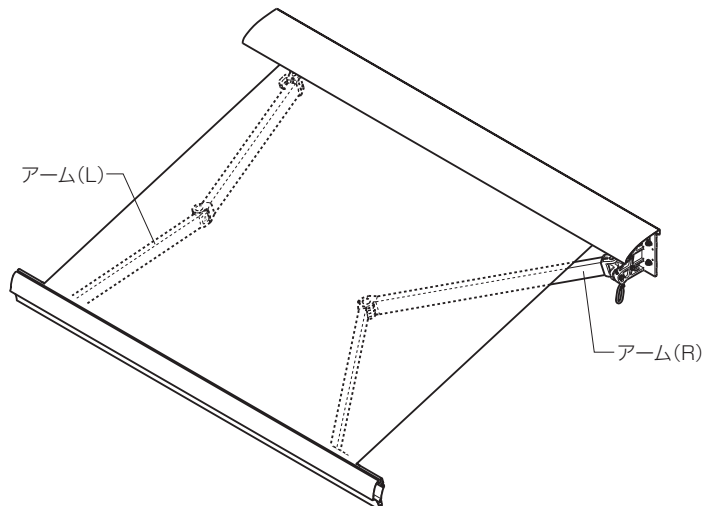


3 上ケースの取付け



4 アームの取付け・調整

※左右のアームをブラケット・前枠に取付け終るまで、アームバンドを外さないでください。

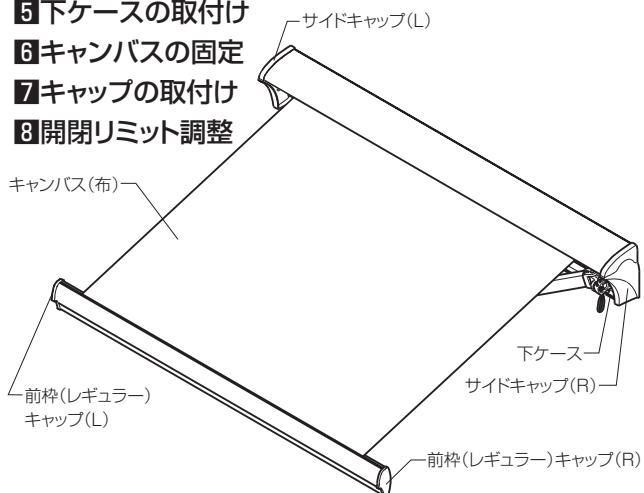


5 下ケースの取付け

6 キャンバスの固定

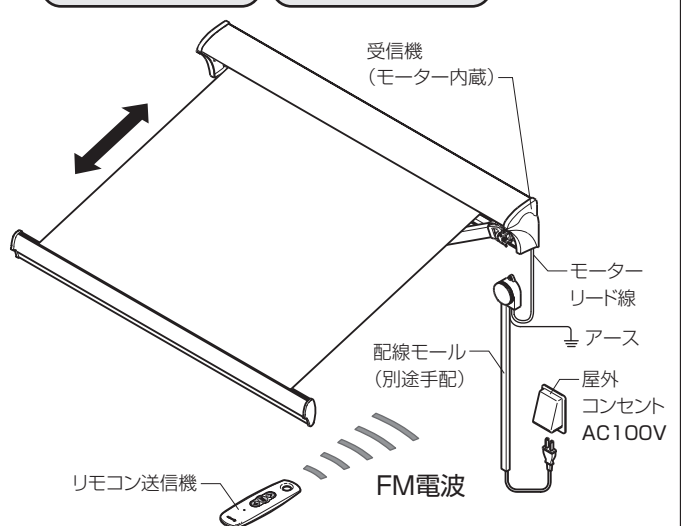
7 キャップの取付け

8 開閉リミット調整



※ **電動スイッチ式** および **電動リモコン式** の場合は、結線してリミット調整してください。

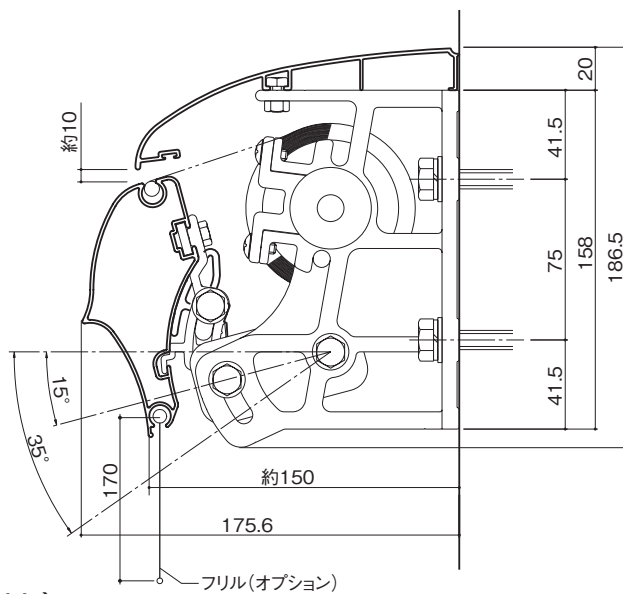
■ **電動スイッチ式** **電動リモコン式** の電気配線



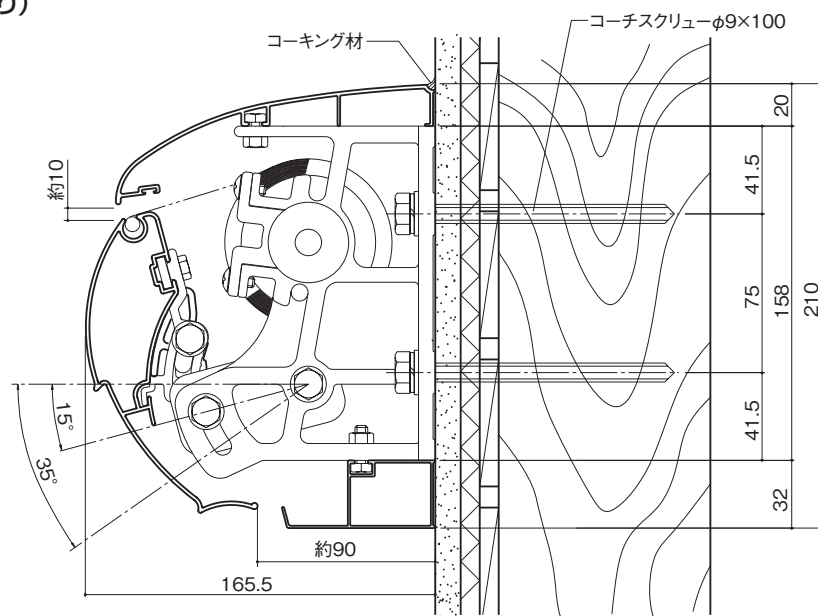
※電気工事説明書をご覧ください。

■断面納まり図

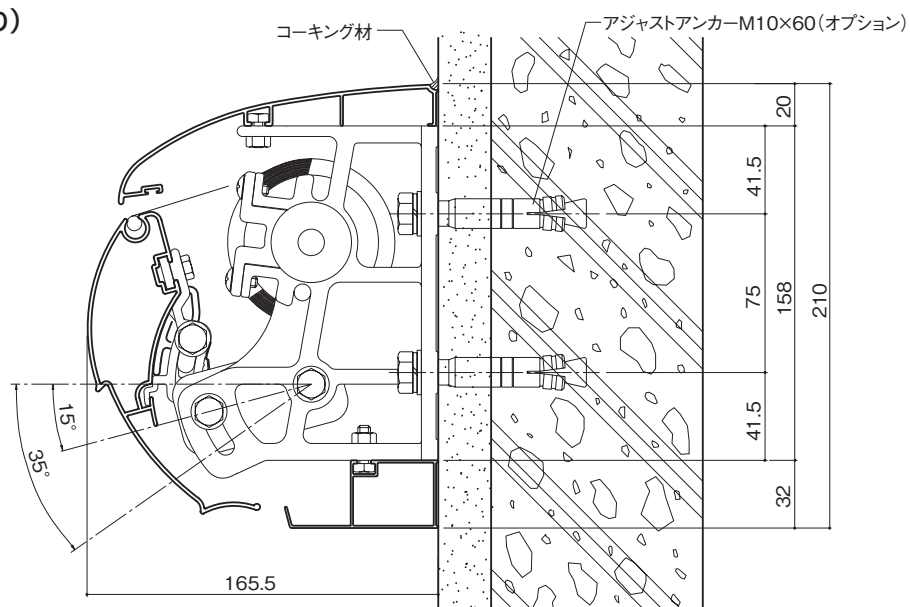
●レギュラータイプ 〈製品〉



●ボックスタイプ(木造納まり) 〈躯体〉



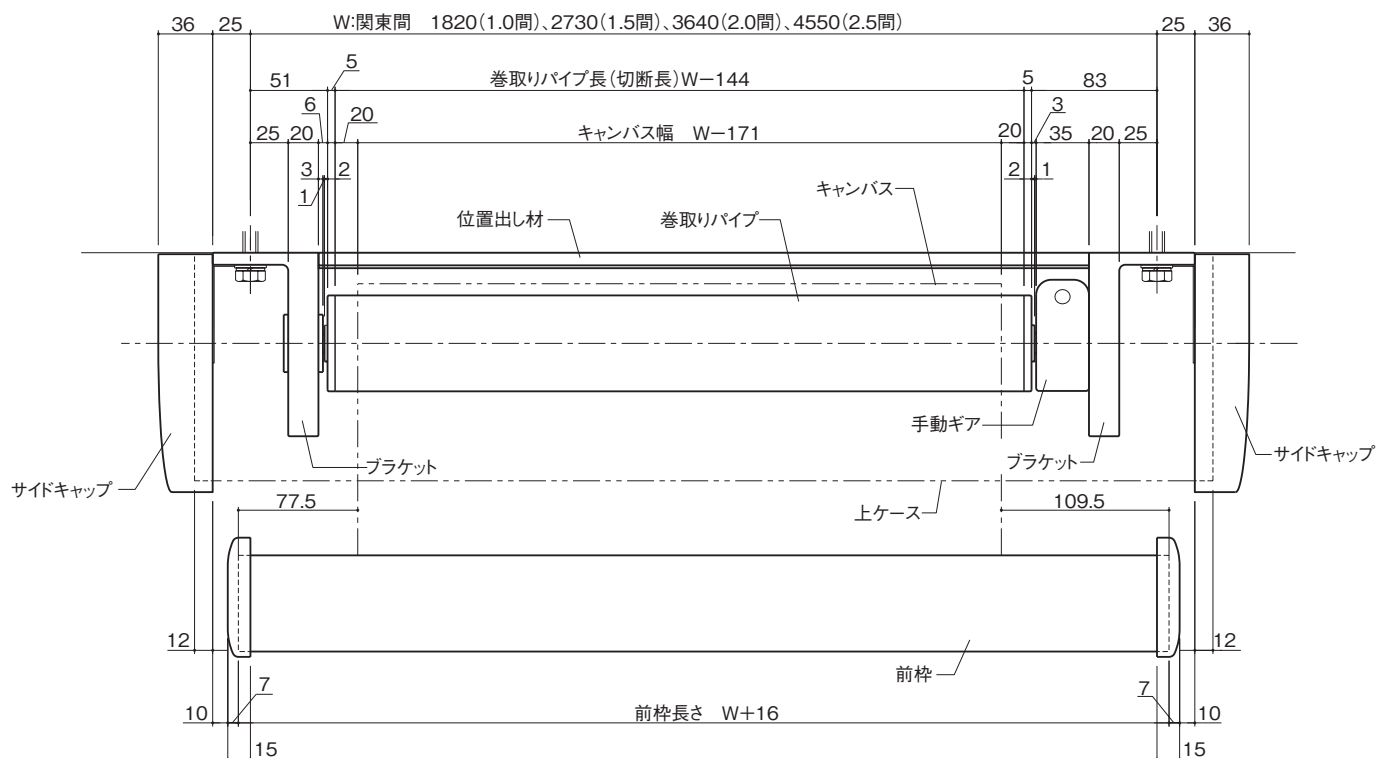
●ボックスタイプ(RC納まり) 〈躯体〉



■ 平面納まり図

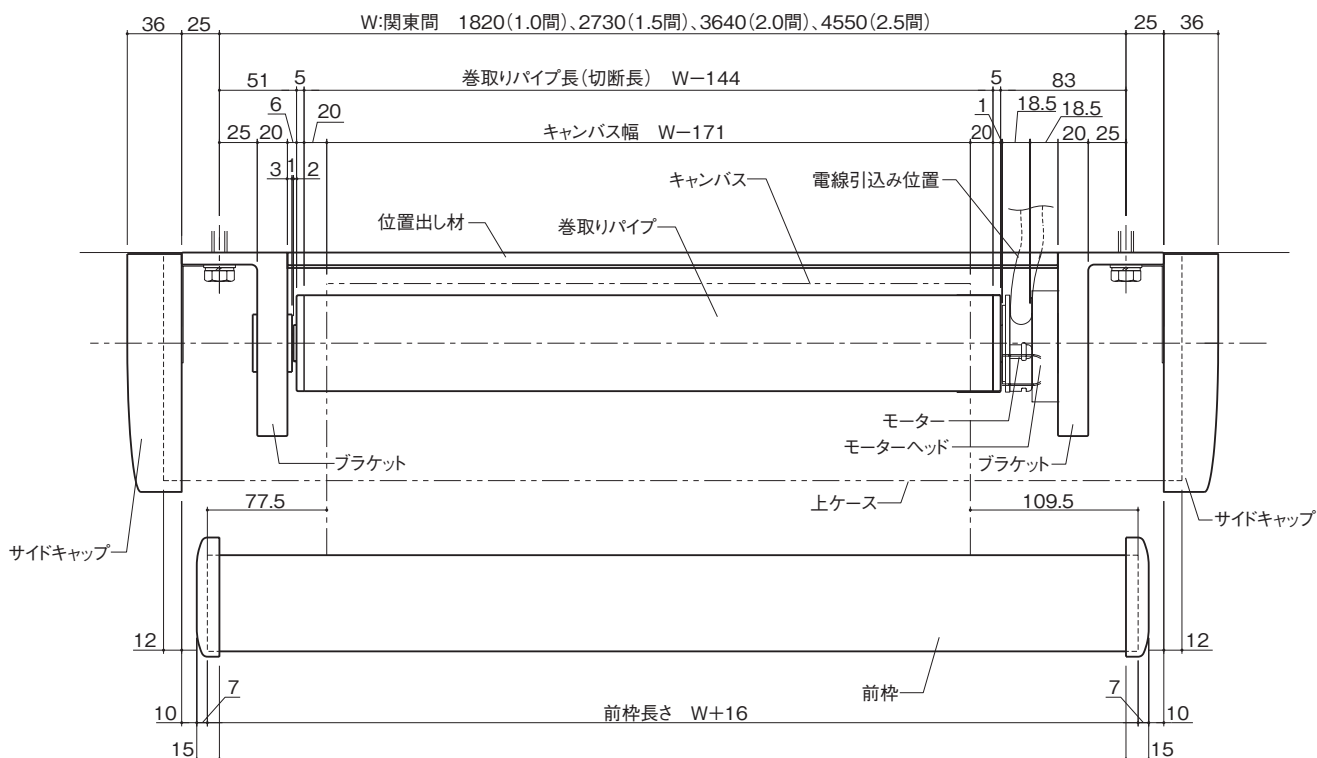
■ 手動式 (外観右側駆動の場合)

※外観左側駆動の場合は左右対称です。



■ 電動スイッチ式 電動リモコン式 (外観右側駆動の場合)

※外観左側駆動の場合は左右対称です。



■製品重量

(単位:kg)

駆動方式	出 幅	間 隔			
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
(手動式)	1.25m	15.3	19.6	23.8	33.0
	1.5m	—	20.1	24.5	33.8
	2m	—	20.9	25.5	35.0
(電動スイッチ式)	1.25m	16.8	21.1	25.3	34.5
(電動リモコン式)	1.5m	—	21.6	26.0	35.3
	2m	—	22.4	27.0	36.5
上ケース重量		2.1	3.1	4.0	5.0
下ケース重量		1.1	1.6	2.1	2.6

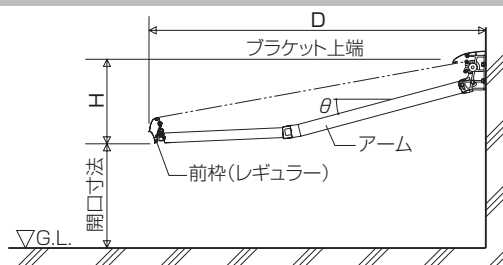
■出幅とこう配の関係

●こう配寸法(数値は参考)

(単位:mm)

θ角度	出幅	1.25m		1.5m		2m	
		D	H	D	H	D	H
15°		1195	375	1445	440	1930	590
20°		1175	465	1420	540	1890	730
25°		1150	555	1385	640	1850	860
30°		1115	640	1340	740	1790	990
35°		1070	720	1290	840	1720	1110

※ボックスタイプの場合は、H寸法を30mm足してください。



■取付け位置の障害物確認

※取付け位置の上下に障害物があると取付けられないことがありますので、下記を確認してください。

1 取付け位置の上部に障害物がある場合

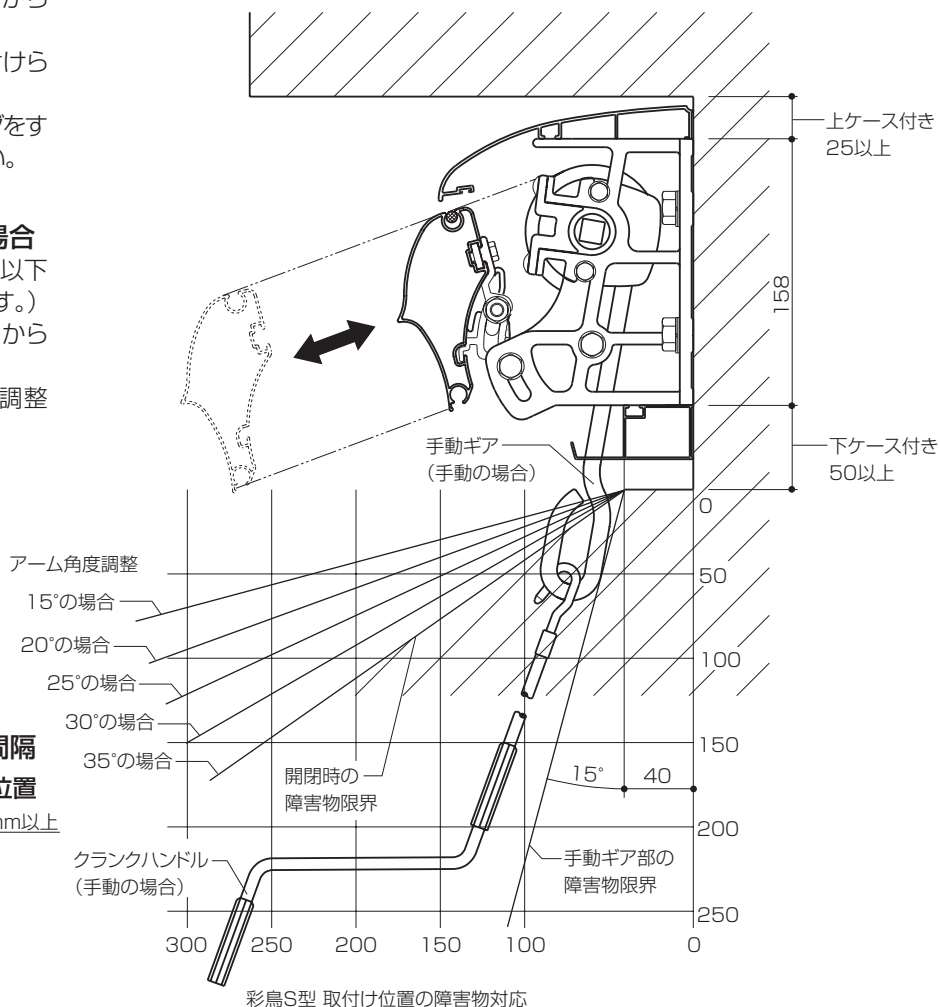
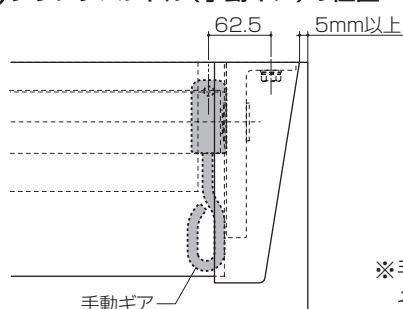
- 上ケース付きの場合…ブラケット上端から25mm以内に障害物がないこと。
- 上ケースなしの場合…ブラケットが取付けられること。
- ※上ケース付きの場合で躯体部にシーリングをするときは、作業スペースを考慮してください。

2 取付け位置の下部に障害物がある場合

- (手動式) …躯体からの出寸法が40mm以下であること。(クランクハンドルが当たります。)
- 下ケース付きの場合…ブラケット下部から50mm以内に障害物がないこと。
- アーム角度による制限…アームの角度調整範囲に障害物がないこと。

■入隅部分や並べて取付ける場合の間隔

(手動式) クランクハンドル(手動ギア)の位置



※手動ギア・クランクハンドルは(手動式)専用の事項です。
それ以外は(手動式) (電動スイッチ式) (電動リモコン式) 共通事項です。

■ 取付け詳細

1 位置出し材・ブラケット・上ケースサポートの取付け

※位置出し材・ブラケット・ベースプレート(オプション)は、平坦で凹凸のない面に取付けてください。

①下穴をあけます。

ねじ種類	下穴径
コーチスクリューφ6	φ4.5
コーチスクリューφ9	φ5.5
アジャストアンカーφ10	φ15

※壁面からボルトなどを出して取付ける場合は、20mm以下にしてください。

②位置出し材をブラケットの上面に合わせて水平に取付けます。

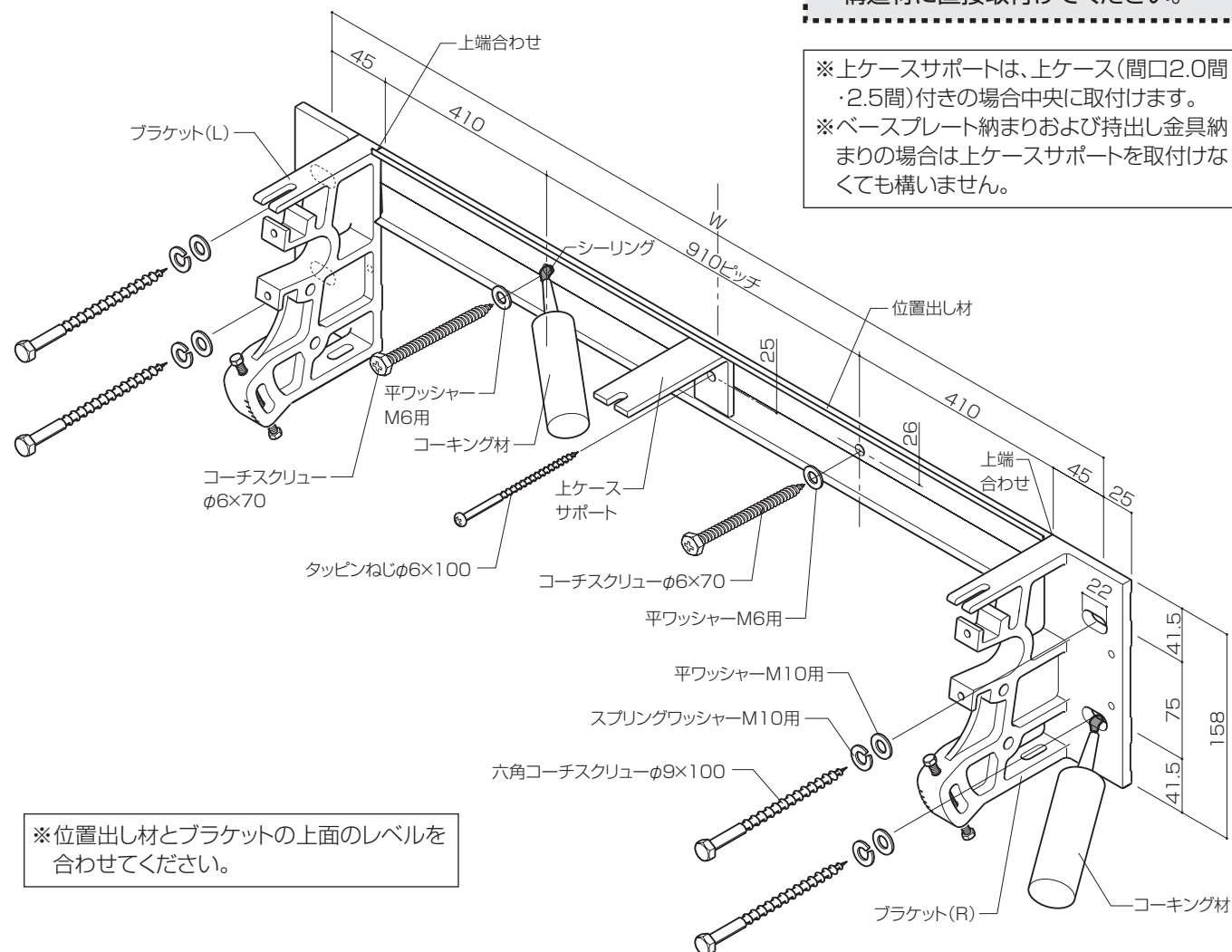
③ブラケットを全体が壁面に密着するように取付け、丸軸側は仮止めにします。

※ブラケットは必ず垂直かつ左右を平行に向い合わせて取付けてください。

▲ 注 意

●ブラケット・ベースプレートは、躯体の柱などの重量・使用に耐えられる構造材に直接取付けてください。

※上ケースサポートは、上ケース(間口2.0間・2.5間)付きの場合中央に取付けます。
※ベースプレート納まりおよび持出し金具納まりの場合は上ケースサポートを取付けなくても構いません。

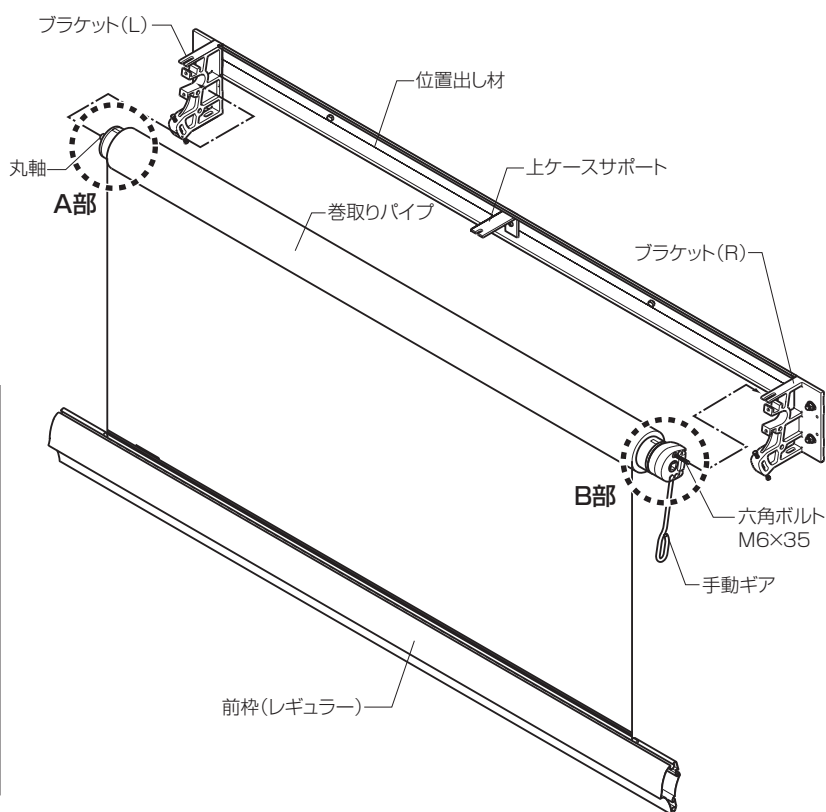
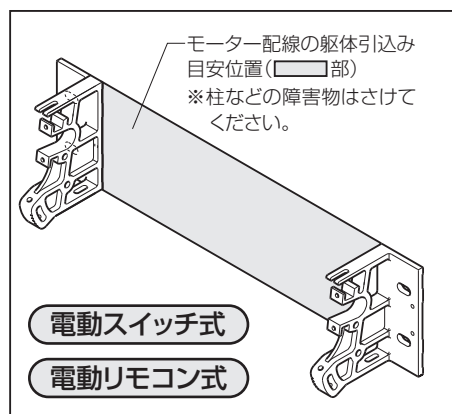


※位置出し材とブラケットの上面のレベルを合わせてください。

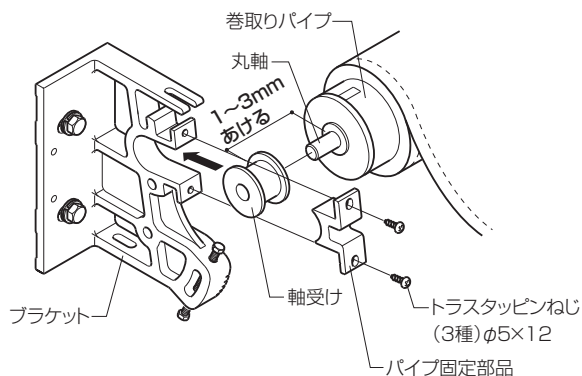
※「ベースプレートの納まり」はP.18・19をご覧ください。

2 巻取りパイプの取付け

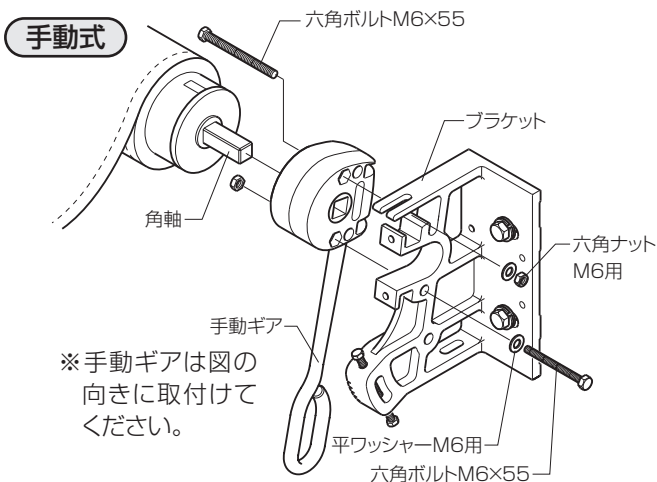
- ① 仮止め側のブラケットを、巻取りパイプが入れやすいよう少し外側にずらしします。
 - ② 駆動側のボルトを上側だけ取付けます。
 - ③ 巻取りパイプを持ち上げて、駆動側はボルトを、丸軸側は丸軸をブラケットにいったんのせます。
 - ④ 駆動側のボルトを取付け固定します。
 - ⑤ 丸軸側に軸受けを取付け、パイプ固定部品で固定します。
 - ⑥ ブラケットを戻して垂直に固定します。
- ※巻取りパイプと軸受けの間は1～3mmあけてください。



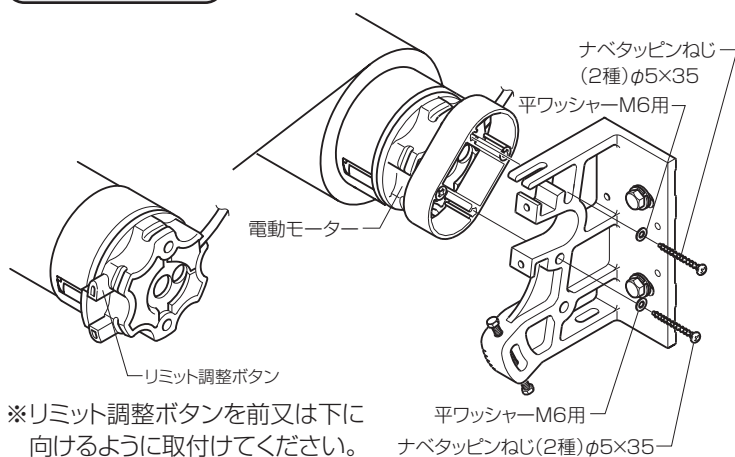
■丸軸側(A部詳細図)



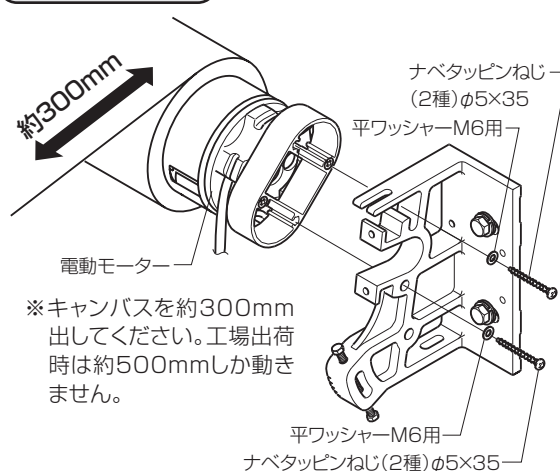
■駆動側(B部詳細図)



電動スイッチ式

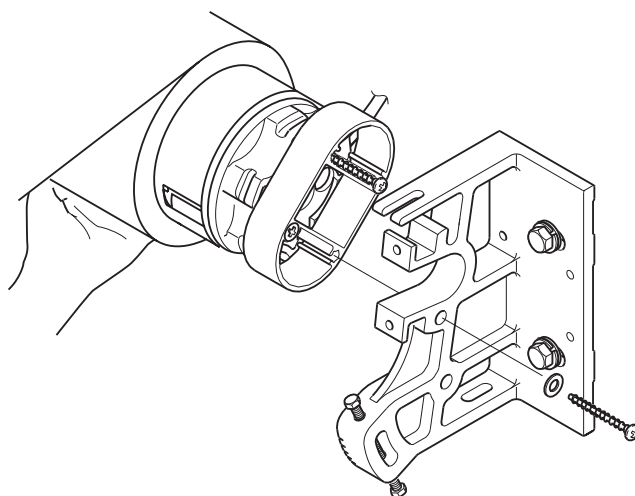
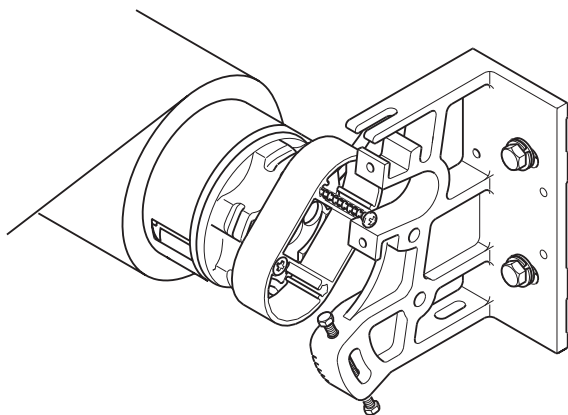


電動リモコン式

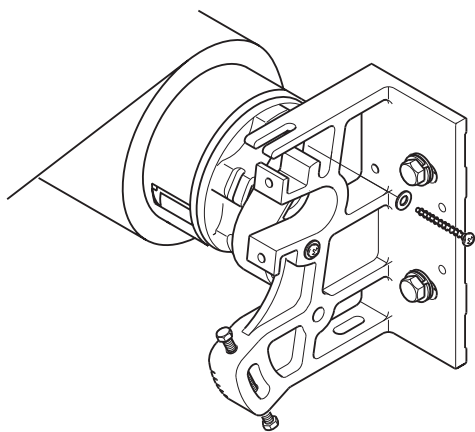


■ 1人施工の仕方 (※図は 電動スイッチ式 / 電動リモコン式 を例に示します。)

- ① 駆動側のボルト・ねじを1本仮付けしブラケットに仮置きします。 ② 仮付けボルト・ねじを取付けるU字部に置き直しもう1本のボルト・ねじを取付けます。



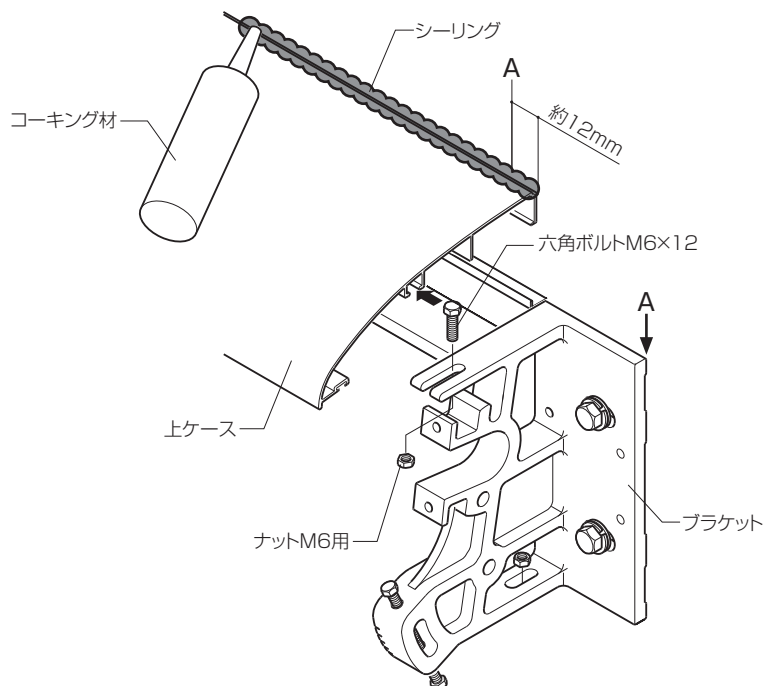
- ③ 仮付けのボルト・ねじを取付けます。



■ 3 上ケースの取付け

※間口2.0間・2.5間の場合は、上ケースサポートにも固定してください。

- ① 上ケースをブラケットの外側から12mm出して取付けます。
② 上ケースと建物(壁面)との間にコーキング材を充てんします。

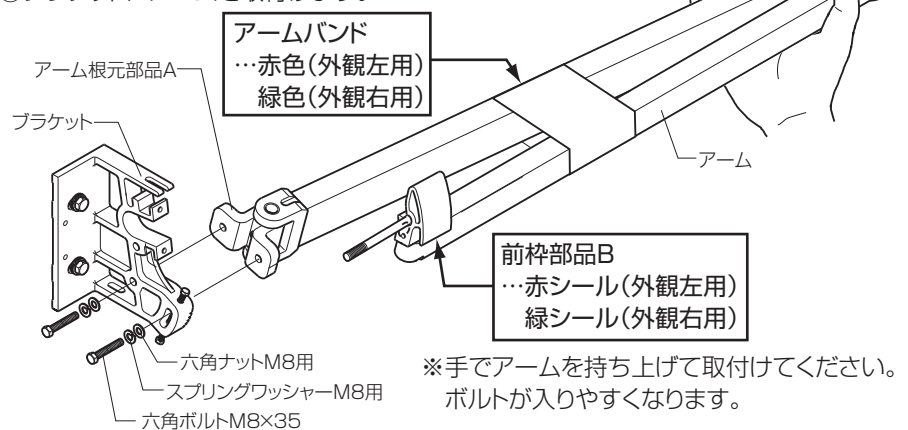


4 アームの取付け・調整

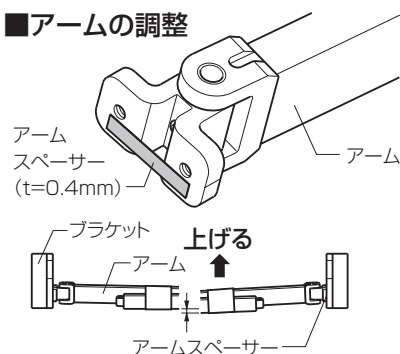
※アームおよび前枠部品Bは左右があります。アームバンドおよびシールの色で見分けてください。

※アームバンドの色と前枠部品Bに付いているシールの色を合わせてください。

①ブラケットにアームを取付けます。

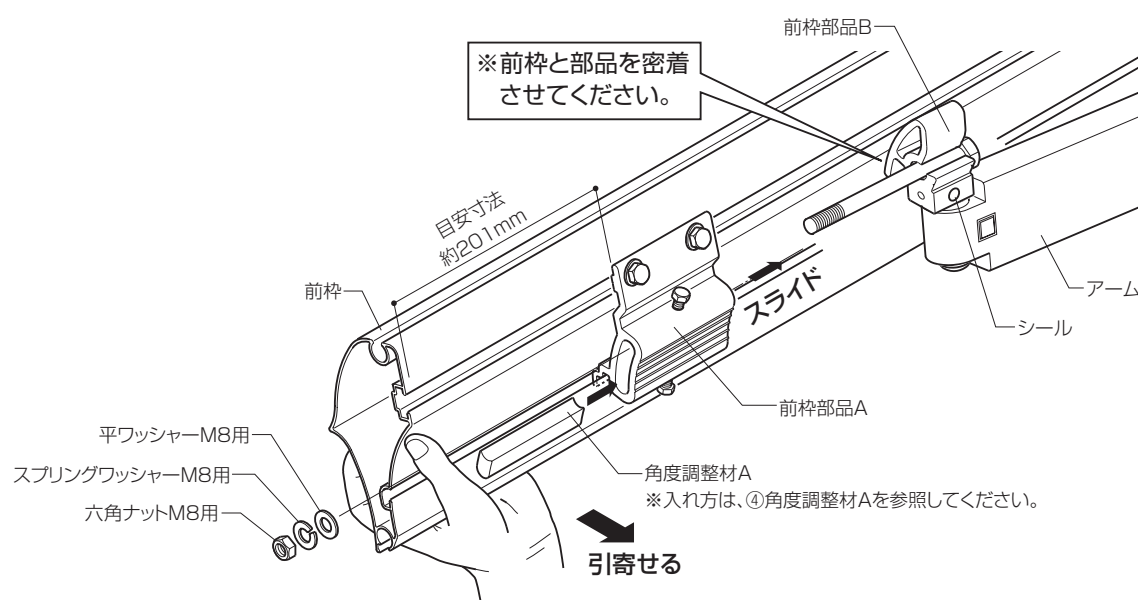


■アームの調整



※アームを壁側に一直線にし、左右のバランスをアームSpacerで調整してください。

②前枠部品Aをスライドさせ、六角ナットを締める際に、前枠の下側を引寄せて固定します。

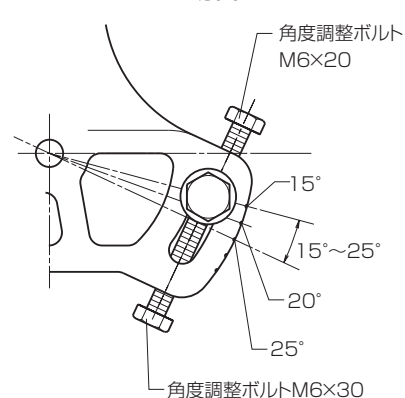


③アームのこう配角度を調整します。

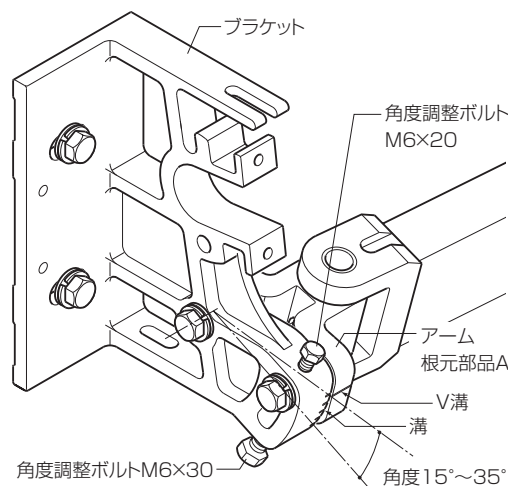
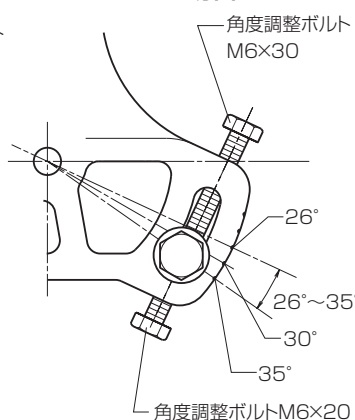
※アーム根元部品AのV溝をブラケットの溝に合わせて、アーム角度を設定します。

角度を決めたら角度調整ボルトで位置を決めます。

●15°～25°の場合



●26°～35°の場合

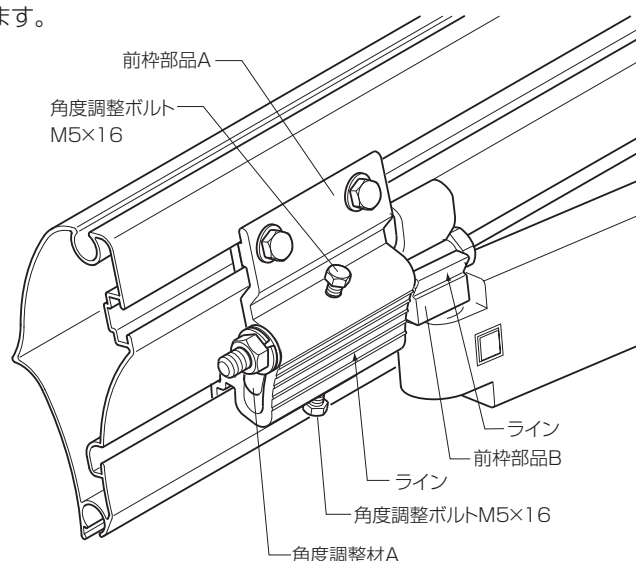
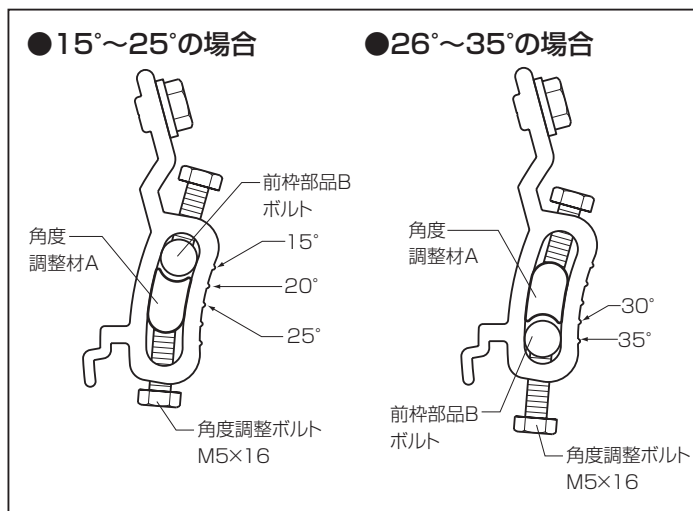


※図は15°の状態を示します。

④前枠部品Aのラインと前枠部品Bのラインを合わせて前枠の傾きを一定に設定します。

※角度調整材Aは、15°～25°の場合は前枠部品Bボルトの下に入れます。

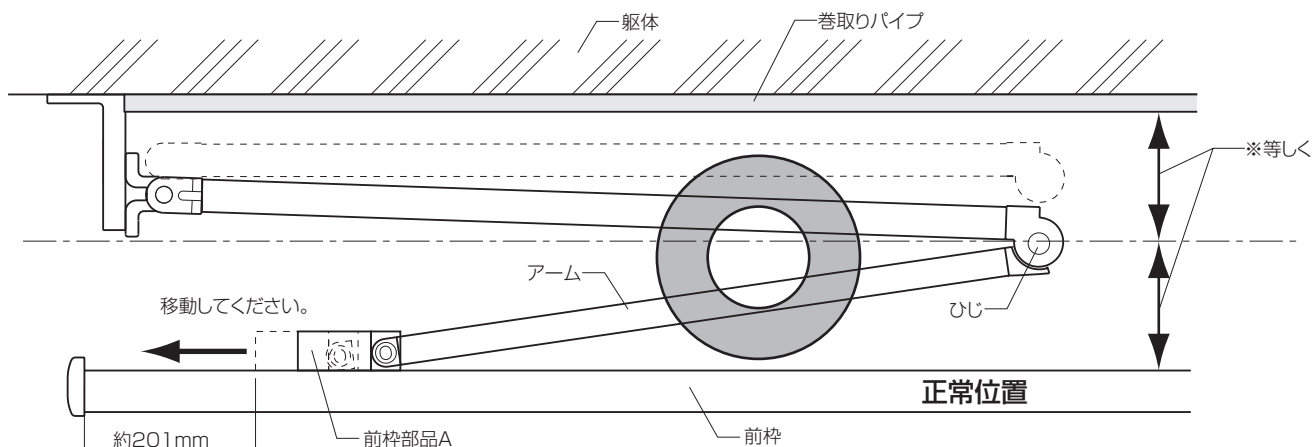
26°～35°の場合は前枠部品Bボルトの上に入れます。



※図は15°の状態を示します。

⑤前枠部品Aを下図のように数ミリづつ移動させ、アームのひじが前枠と巻取りパイプの間に位置するように調整します。

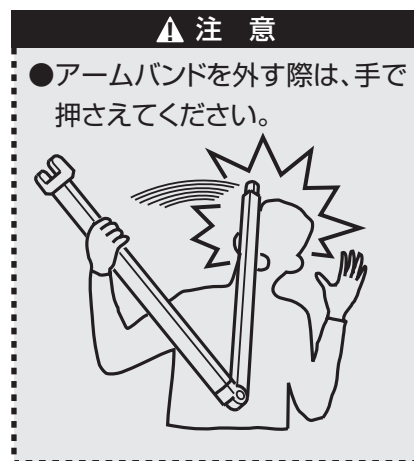
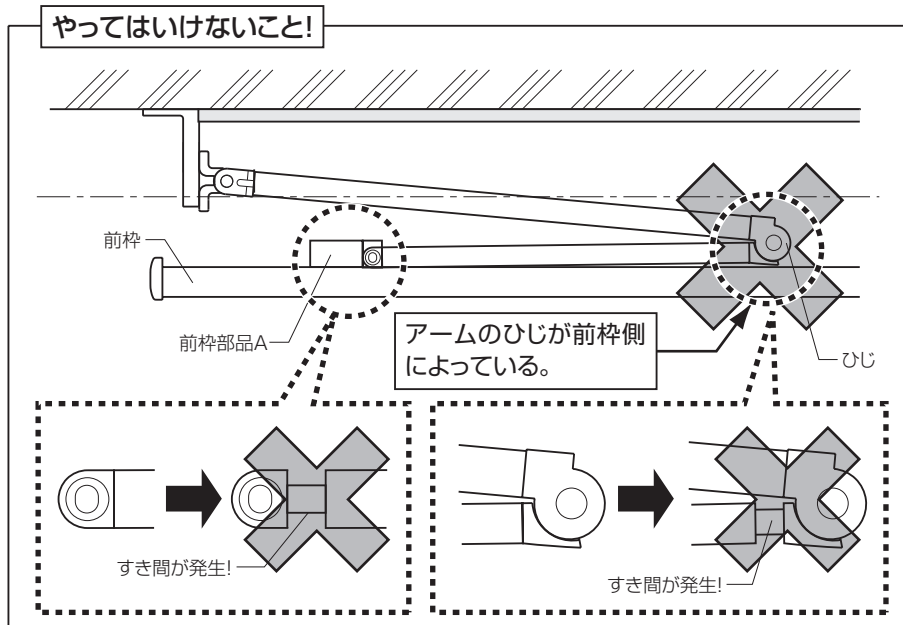
※アームのひじを持ち上げ、前枠部品をプラスチックハンマーで軽くたたいて少しずつ移動させます。



⑥前枠部品Aを固定します。

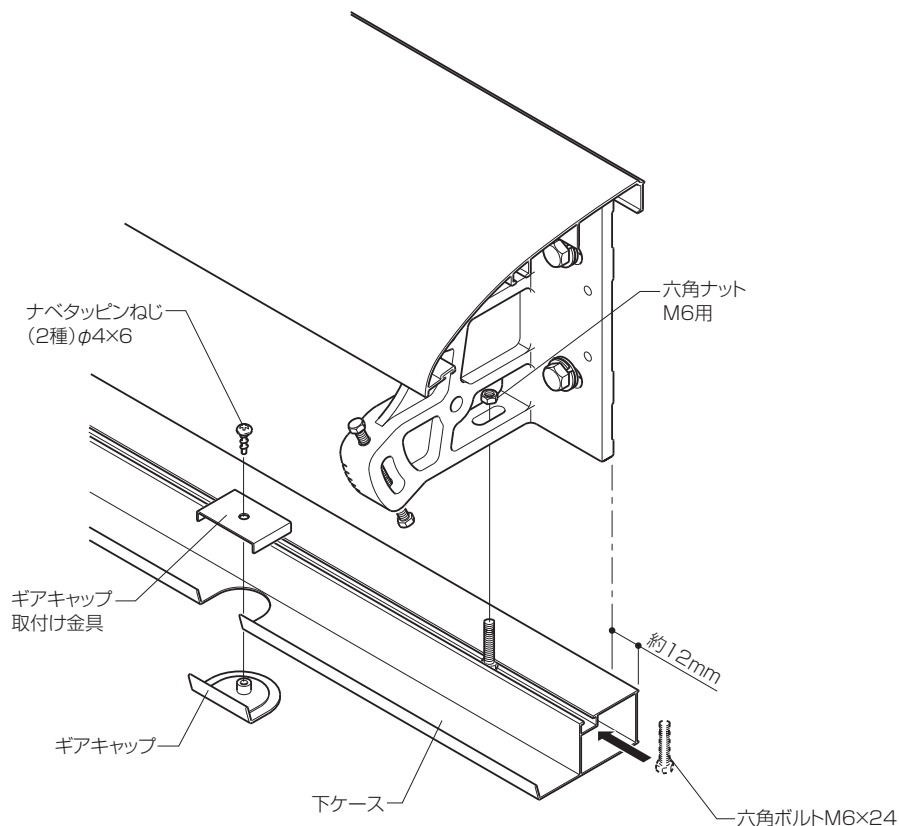
※下記の調整を行わないとアームのジョイント部が破損(すき間)します。

⑦前枠の水平やアームの角度を③④⑤の操作で調整します。



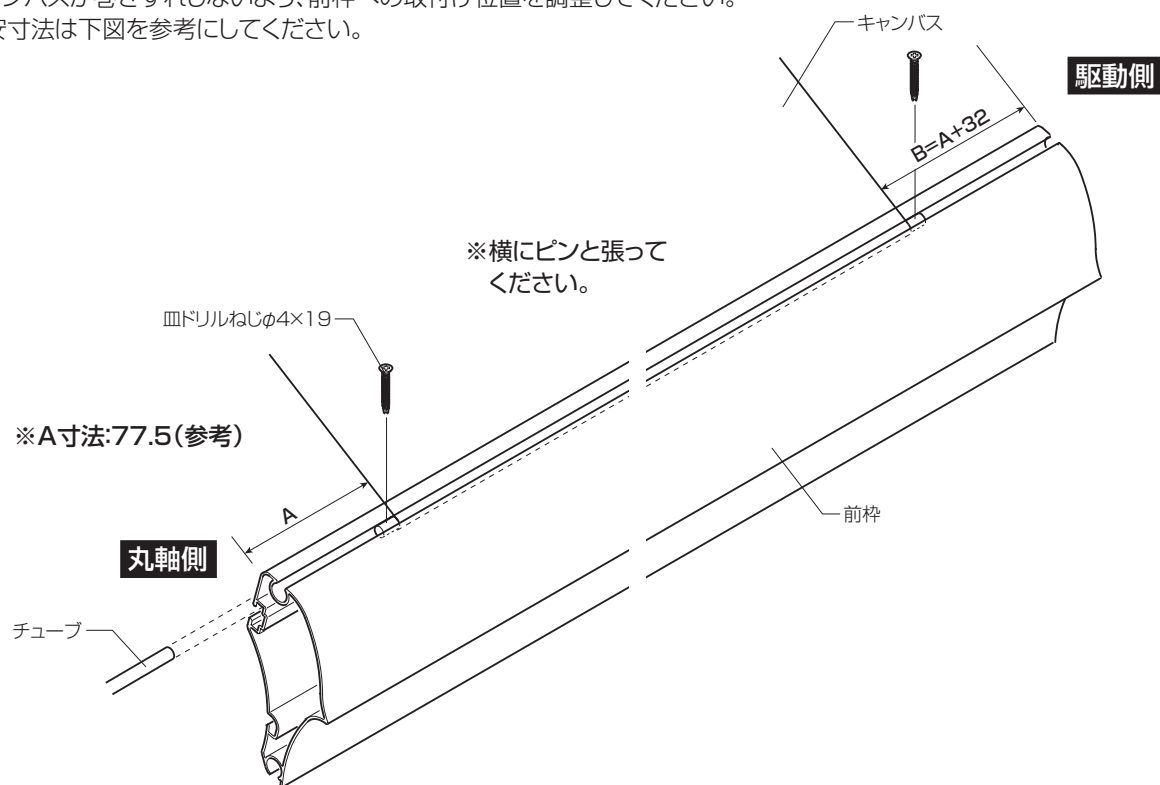
5 下ケースの取付け

- ①下ケースを、ブラケットの外側から12mm出して取付けます。
- ②手動ギアがこまない切欠き部にギアキャップを取付けます。



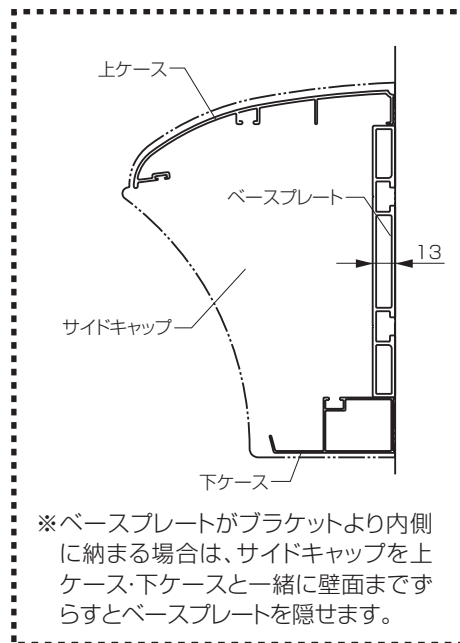
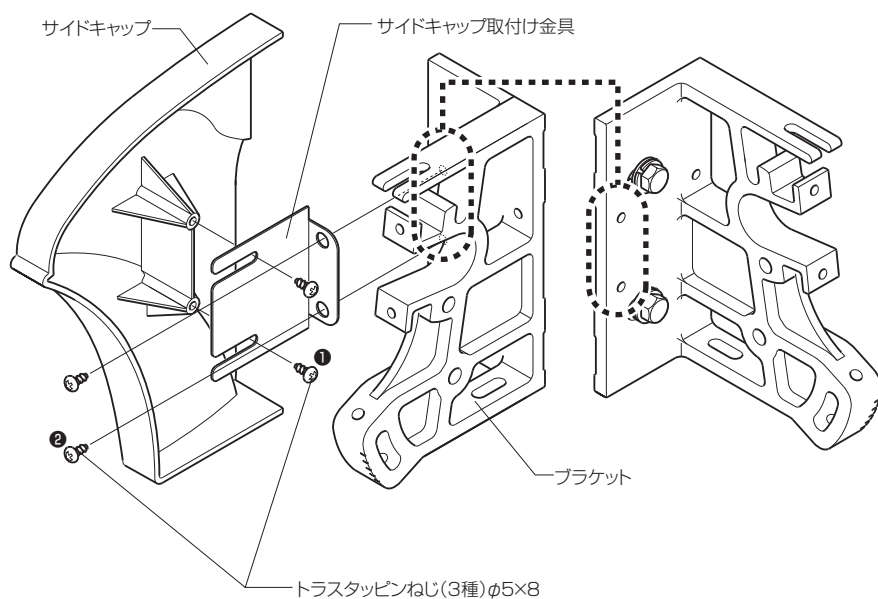
6 キャンバスの固定

- 開閉したときキャンバスが横ずれしないよう、チューブをキャンバスから少し出る位置でカットし、外側に皿ドリルねじを止めて固定します。
- ※キャンバスが巻きずれしないよう、前枠への取付け位置を調整してください。
目安寸法は下図を参考にしてください。

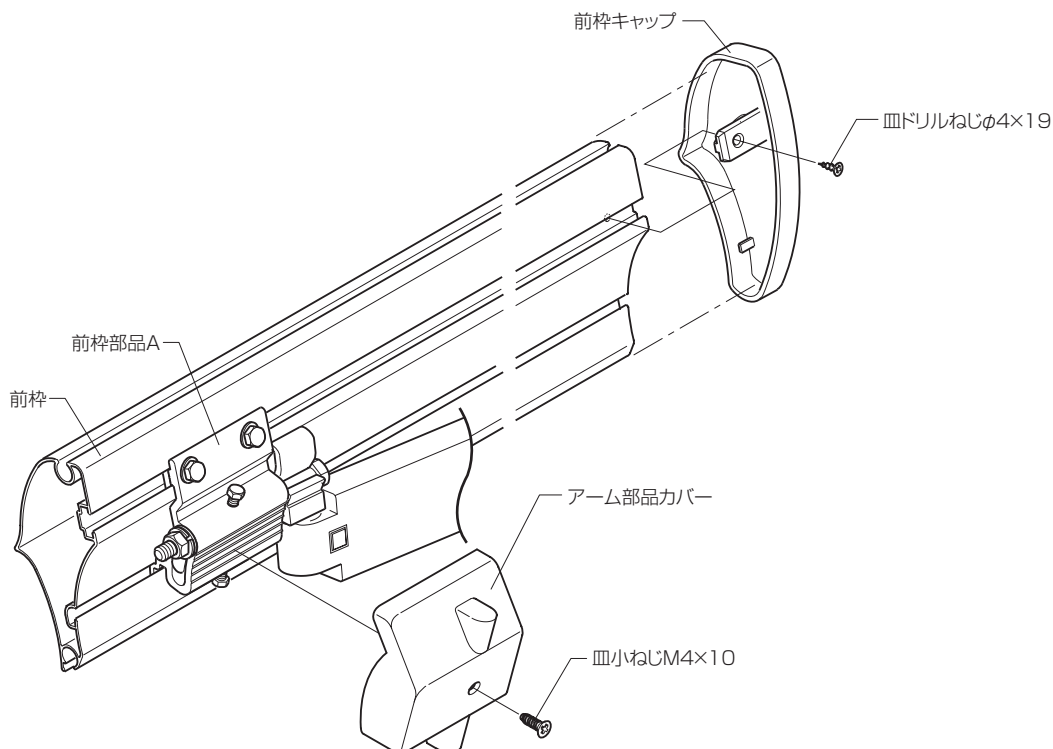


7 キャップの取付け

- ① サイドキャップ取付け金具をサイドキャップに取付けます。
- ② ブラケットに仮当てし、金具の位置を決めてブラケットに取付けます。



- ③ 前枠に前枠キャップを取付けます。
- ④ アーム取付け調整後、アーム部品カバーをねじ止めします。



8 開閉リミット(限界)調整

※全開の場合は、アームが伸びきった状態から少し巻戻した状態で設定してください。

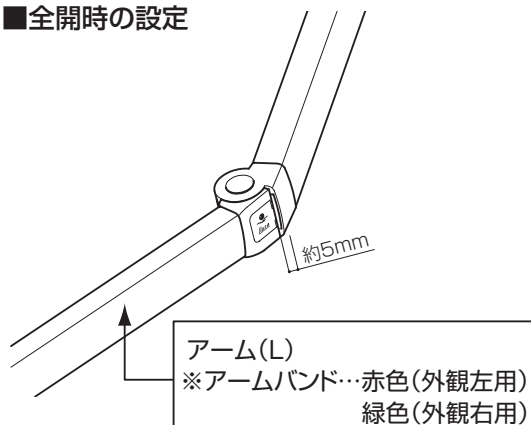
伸びきった状態にすると風が吹いたときにアームが破損しやすくなります。又、巻戻らない場合があります。

アームのひじ部品のベルトが5mm程度見えるように設定してください。

※キャンバスを張出す(開く)場合は、周囲に障害物(木の枝・電線・アンテナなど)がないか確認してください。

※リミット調整された範囲内であれば、途中停止状態でも使用できます。

■全開時の設定



手動式

電動スイッチ式

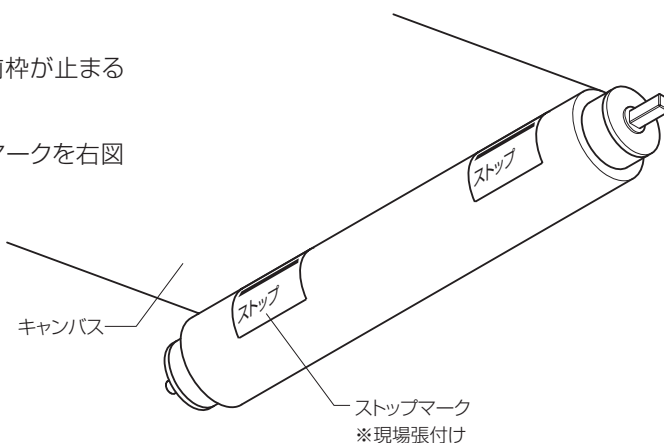
電動リモコン式

で調整方法が異なります。

手動式

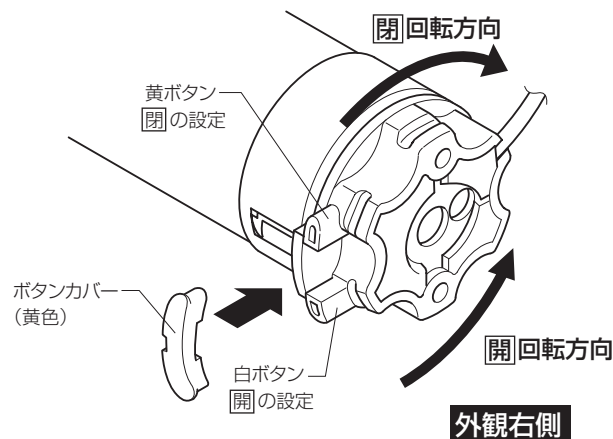
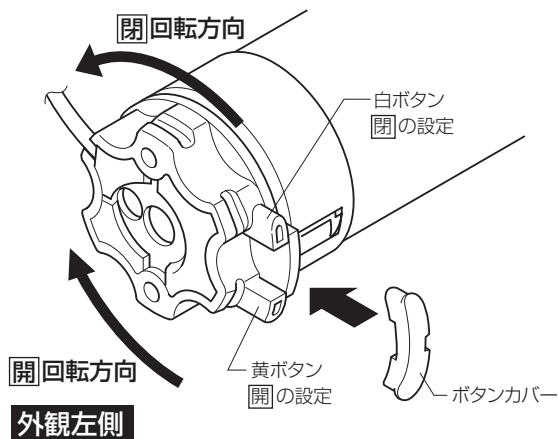
【閉じるとき】 ※ストッパーはありませんので、前枠が止まる直前で止めてください。

【開くとき】 ※全開時の設定以内で、ストップマークを右図のように張付けます。



電動スイッチ式

- ①電源の入っていない状態でボタンカバーを外し、リミット調整ボタン(2個)を押します。
※ボタンが下がった状態 ■ になり、未設定状態になります。
- ②電源を入れ、スイッチを入・切して止めたいところで停止させます。
- ③巻取った(閉じた)状態の場合は外観手前のボタンを押し、上った状態 ■ にします。
張出した(開いた)状態の場合は外観奥のボタンを押し、上った状態 ■ にします。
※リミット調整が設定され、この位置にくると自動停止します。
- ④作動確認し、リミット調整が正しく設定されていない場合は①～③の手順をやり直します。
- ⑤ボタンカバーを取付けます。



電動リモコン式

次のページへ

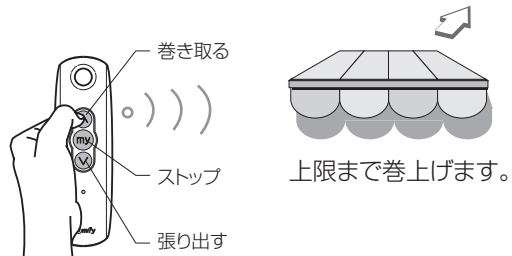
電動リモコン式

※開閉をひんぱんに繰り返すと設置途中でモータ温度が上がり、安全装置により電源が切れます。30分ほど休ませれば再び動きます。
ただし、設定は元の状態に戻ります。施工時は5秒動かすと2秒止める間隔で操作してください。

※リミット位置は工場出荷時に仮設定しています。上限・下限リミット位置の本設定をします。

① 上限リミット位置の設定

①「UP▲」ボタンを押し、上限リミット位置まで巻上げます。



②「UP▲」と「DOWN▼」ボタンを同時に約5秒押します。
※中途位置では反応しません。



③「UP▲」「DOWN▼」ボタンで希望する上限位置に合わせます。

※このとき、スイッチの赤ランプが点灯(5秒間)している間だけ動きます。大きく動かしたい場合は数回ボタン操作をくり返してください。

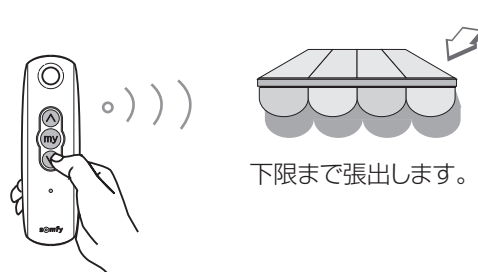


④「STOP」ボタンを約2秒押します。



② 下限リミット位置の設定

①「DOWN▼」ボタンを押し、下限リミット位置まで張出します。



②「UP▲」と「DOWN▼」ボタンを同時に約5秒押します。
※中途位置では反応しません。



③「UP▲」「DOWN▼」ボタンで希望する下限位置に合わせます。

※このとき、スイッチの赤ランプが点灯(5秒間)している間だけ動きます。大きく動かしたい場合は数回ボタン操作をくり返してください。



④「STOP」ボタンを約2秒押します。



※経年変化などで躯体の損傷が著しい場合は、お施主様と打合せをし、必要に応じて補修してから取付けてください。
※ベースプレート(オプション)は、ブラケットを直接構造材に取付けられない場合に使用する調整材です。

【ブラケットが構造材より内側になる場合】



※位置出し材はベースプレートを使用して中間が躯体から浮く場合は使用できません。
※ベースプレート長尺(呼称L=5235)の場合も、L=600に準じて取付けてください。

600

A=50以上

ベースプレート

70

25

ブラケット

A=50以上

コーチスクリュー

取付け可能範囲

76(40)

躯体側

ベースプレート
の中心

Exploded view diagram of the sliding door assembly. The diagram shows the base plate (ベースプレート) with dimensions 600 and 50以上. The base plate is secured with base plate end caps (ベースプレート 端部キャップ) and base plate screws (ベースプレート 現場穴あけφ9). The bracket (ブラケット) is shown with dimensions 13, 50以上, 16, and 157. The door panel (躯体柱) is shown with dimensions 13, 50以上, 16, and 157. The assembly is secured with hex head screws (六角コーチスクリューφ8×90), spring washers (スプリングワッシャーM10用), and flat washers (平ワッシャーM10用). The bottom hole diameter is 3.5 (下穴φ3.5).

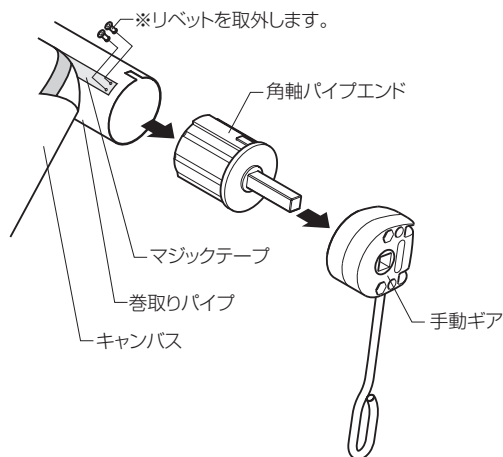
Labels and dimensions in the diagram:

- ベースプレート
- 現場穴あけφ9
- ベースプレート 端部キャップ
- ナベタッピンねじ (3種)φ4×10
- ベースプレート
- 600
- 50以上
- ブラケット
- 13
- 50以上
- 16
- 157
- 六角コーチスクリューφ8×90
- スプリングワッシャーM10用
- 平ワッシャーM10用
- 下穴φ3.5
- 躯体柱

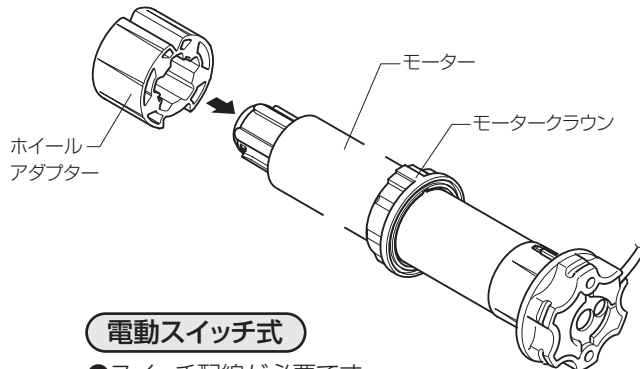
■メンテナンス方法

●手動式を現場で電動スイッチ式(電動リモコン式)に変更する方法

- ①手動ギアを取除きます。
- ②巻取りパイプからキャンバスを外します。
- ③リベットを外して、角軸パイプエンドを取除きます。



- ④ホイールアダプターをモーターに取付けます。



電動スイッチ式

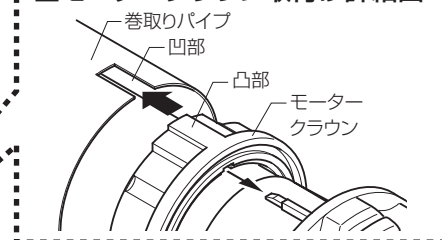
- スイッチ配線が必要です。

電動リモコン式

- リモコン登録の初期設定が必要です。モーター同梱の説明書をご覧ください。

- ⑤巻取りパイプの凹部にモータークラウンをはまるように差込みます。
- ⑥ホイールアダプターの芯がくる位置に巻取りパイプに穴あけをし、写し穴でホイールアダプターをリベット止めします。
- ⑦マジックテープをリベット止めします。
- ⑧モーターにモーターヘッドを取付けます。
- ⑨巻取りパイプにキャンバスを取付け、以下、取付け説明書にしたがって取付けてください。

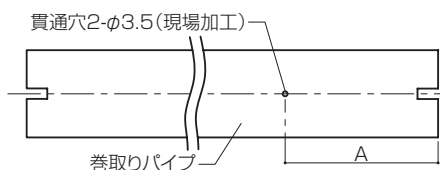
■モータークラウン取付け詳細図



■A寸法

間口	出幅	電動スイッチ式	電動リモコン式
1.0間	1.25m	490	590
1.5間	1.25m		
	1.5m		
	2.0m		
2.0間	1.25m		
	1.5m		
	2.0m		
2.5間	1.25m	510	
	1.5m	490	
	2.0m	510	

■巻取りパイプ加工図



●キャンバスの交換方法

- ①前枠からチューブを抜き、キャンバスを外します。
- ②巻取りパイプからキャンバスをほどいて外します。
- ③新しいキャンバスを巻取りパイプに一直線になるようマジックテープで取付けます。
- ④前枠にチューブでキャンバスを差込みます。
- ⑤キャンバスの巻きずれがないか確認し、キャンバスを巻取ります。

■施工後のチェック項目

①	ブラケットの取付けボルトのゆるみ・締め忘れはないか	9ページ
②	ブラケットの取付けコーチスクリューにシーリングはしたか	9ページ
③	丸軸と軸受けの間は1～3mmあいているか	10ページ
④	アームの左右・取付け方法は適正か	12・13ページ
⑤	アームのひじが前枠や巻取りパイプに当たっていないか	13ページ
⑥	アームのひじが下ケースにあたっていないか	12ページ
⑦	全開の場合、アームのひじは5mm程度開いているか	16ページ
⑧	前枠は断面図通り納まっているか	5ページ
⑨	キャンバスのたるみ・シワ・巻きずれはないか	14ページ